

令和元年度 2学期始業式（定時制） 校長式辞

みなさん、おはようございます。

今日は、私が毎週楽しみにしているテレビドラマに関わる話をします。そのドラマは、「風のお暇」というドラマです。

このドラマの主題歌を歌っているシンガー・ソングライターの「m i w a」ですが、競泳選手で前回のリオデジャネイロオリンピック男子400m個人メドレーで金メダルを獲得した萩野公介と結婚することが、今日、テレビ等で報道されていました。

さて、「風のお暇」というドラマのテーマは、「人生のリポート：再起動」です。

女優の黒木 華が演じているドラマの主人公・風は、28歳のOL。仕事はきっちりとこなし、周囲に気を使うとても感じのよい女性。その空気の読み具合は、ときに生きづらさを感じるほど。そんな風が、他人からの評価ばかりを気にしていた生き方を捨て、自分なりの幸せを見つけようと、もがく物語です。サラサラのロングヘアをやめ、女子力の高い家具も洋服もすべて捨て、必死に自分を見つめ直そうとする姿、引っ越しをした荷物のほとんどないアパートで扇風機に話かけるシーンもあり、思わず風を応援したくなるドラマです。

主題歌「リポート：再起動」の最初の歌詞を今から流します。

「ああすれば こうすれば こうしたら なんて考えて 進めないでいるなら
複雑な感情 全部捨てちゃえ」

この歌詞が、毎回のドラマの最後に流れますが、すごくインパクトがあります。

主題歌「リポート：再起動」は、「m i w a」が結婚する競泳選手の萩野公介に向けたメッセージでもあったと、私は考えています。萩野は、不調が続き、来年の東京オリンピックに出場できるかどうかの瀬戸際にいます。この不調は、2016年9月、今から3年前ですが、前年2015年の夏に自転車で転倒し、骨折した右肘を手術したときから始まります。それから3年間、きっと、「ああすれば こうすれば こうしたら なんて考えて 前に進めないでいたとき」があったのでしょうか。

現在、萩野は、東京オリンピックに向けて再起動しています。様々な複雑な感情を、「m i w a」の支えもあって、ある程度捨てられたから、再起動できたのだと推測しています。

今日から2学期が始まります。皆さんにとって、今日は「再起動」する日です。

4年生は、これから就職試験や大学等の入学試験があります。

「GO GO FORWARD!」「行け 行け 前へ!」卒業後の進路を開くために、前向きな気持ちを持って、果敢にチャレンジしてください。

また、部活動では秋季大会が始まります。大会に出場できるよう、さらには、よい結果が得られるよう努力してください。

報告ですが、本年度、本校の軟式野球部の活動が認められ、愛知県公立高等学校教職員退職互助会から10万円の助成金をいただけることになりました。この助成金で、キャッチャー防具、ヘルメット、バットを購入する予定です。大切に使用してください。

それでは2学期も、前に進むために、あれこれ考えず、「とりあえず、挑戦する」ことを期待して、2学期始業式の式辞とします。